



## 学校教育目標 『自らをきたえ 共に生きる子』

令和4年度「関わり合い」の集大成 ～ありがとうの気持ちを添えて～

校長 窪田 智

ついに令和4年度も残すところあと1ヶ月、この3月を残すのみとなりました。月日の流れは本当に早いですね。私がこの人穴小に赴任してから11ヶ月、あっという間でした。

コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ここ2年間止まっていた地域との関わりも少しずつできるようになり、運動会、学習発表会、人穴キッズゲルニカ制作とその機会を増やしてきました。また、今年度末で休校となる富士根北小栗倉分校、本校とほぼ同規模の稲子小との交流を初めて行い、学習発表や遊びを通して親睦を深めました。

本校の教育活動の柱である「関わり合い」についても一定の成果を得られたと感じています。回数を重ねること、場を経験することで「どう関わるのか」を考え、行動する子供たちの姿が見られました。今年度を含め、今までの経験を生かしながら、今後さらに「主体的な関わり」が見られるよう、教育活動を計画していきます。

さて、3月は1年間の総まとめです。卒業式や修了式に向かい小学校生活や今学年のことを振り返る時です。学習はもちろんですが、「人・もの・こと」との関わりについても振り返ってみましょう。友達、先生方、お家の方、地域の方々、交流や社会科見学等でお世話になった方々など、たくさんいますね。みんな一人では生きていけませんよね。必ず寄り添ってくれる、力を貸してくれる人たちが周りにいたから、がんばってこられたのです。そしてこれは「おたがいさま」なのです。

生活目標にもあるように、自分が関わった、自分と関わってくれた人たちに、「感謝」の気持ちを伝えましょう。言葉でもいいし、行動で示すのもよし。「関わり合い」を支えているのは感謝の気持ちですから。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。本校は地域と共に歩み、これからも歩いていく学校でありたいと考えています。今後ともお力添えのほど、よろしく願いいたします。

2月17日(金)に行われた「6年生ありがとう集会」では、唯一の6年生、中村隼織さんへの感謝を、ゲームや歌、映像を通して全校で伝えました。また、隼織さんからも、在校生に向けて感謝と人穴小を託す言葉が送られました。その中でお互いの存在を「誇り」であると話した子供たちの思いに胸が熱くなりました。子供たちが一番関わるのは子供たち(仲間)です。一人一人の強い思いを感じる感動的な会でした。人穴小だからこそ生まれる、強いつながりが成せる業だと改めて感じました。

卒業式は3月17日(金)に行われます。

